



図-82 基肥の施用例  
(牛糞堆肥等の投入)

### 1 1 生理的落果

- ・「生理的落果\*」は、6月末～7月中旬までの「前期落果」と8月以降の「後期落果」に分けられる。
- ・「前期落果」は栄養不足や樹勢が衰えた樹に多く発生する。
- ・「後期落果」は不受精により発生するため、受粉樹を混植し、受精を促す。
- ・適度なせん定、間伐、肥培管理により、樹勢回復に努める。

### 1 2 気象害

#### (1) 風害

- ・気象害の中でも、特に、クリ収穫前後の風害は、園地に壊滅的ダメージを与えることから、あらかじめ、その対策を講じる必要がある。
- ・奈義町、津山市（旧勝北町）及び勝央町では、特に局地風\*「広戸風」に注意する。
- ・開園する場合、林縁木を防風林として残す。
- ・開園する際、風上側に防風林帯があることが望ましい。
- ・林縁木がない場合、風が通る側に、防風林帯として、針葉樹（スギ、ヒノキ）、広葉樹（コナラ、アベマキ）等を植栽する。
- ・主枝は「車枝\*」にならないよう、適当な間隔を設けるとともに分岐角度を広くとる。
- ・樹高はできるだけ3.5m以下になるよう、低樹高に誘導する。